

本部広報2012-013

2012年7月6日

北海道地区、関西地区で初開催！**「ESC(横滑り防止装置)体験試乗会」を開催**

JAF（一般社団法人日本自動車連盟、会長小栗七生）は、日本国内において、本年10月から実施される「ESC（エレクトロニック・スタビリティ・コントロール：横滑り防止装置）」全車標準装備の義務化に伴い、ESC搭載車の増加が見込まれることから、自動車ユーザーに対し、その機能や安全性について、正しく理解してもらうための体験試乗会を開催しています。

2009年にスタートしたこのJAFの「ESC体験試乗会」は、世界各国の自動車クラブで取組まれている「Choose ESC！（ESCを選ぼう）」キャンペーンの一環として、行われています。2012年は、下記の日程で、北海道・関西の両地区での初めての開催をいたします。この試乗会は、ESCの製造メーカーであるボッシュ株式会社（東京都渋谷区、取締役社長：ヘルベルト・ヘミング）、コンティネンタル・オートモーティブ株式会社（神奈川県横浜市、代表取締役社長兼CEO：クリストフ・ハゲドーン）、株式会社アドヴィックス（愛知県刈谷市、取締役社長：川田 武司）の協力を得て実施しています。

また、JAFでは、「ESC体験試乗会」とは別に、安全運転実技講習会「セーフティトレーニング」の中にも、ESC搭載車の体験試乗をカリキュラムに取り入れ、全国で開催しています。

■2012年「ESC体験試乗会」開催概要

- ・北海道会場：7月14日（土）新千歳モーターランド（千歳市美々1292-560）
※北海道地区初開催
- ・大阪府会場：10月25日（木）舞洲スポーツアイランド（大阪市此花区北港緑地2-2-15）
※関西地区初開催

- ① 主催：一般社団法人 日本自動車連盟
- ② 共催：ボッシュ株式会社
コンティネンタル・オートモーティブ株式会社
株式会社アドヴィックス
- ③ 後援：国土交通省
財団法人 全日本交通安全協会
一般社団法人 日本自動車工業会
- ④ 募集：各会場20名



(高速レーンチェンジによるESCの効果体験)

■「セーフティトレーニング」は全国で随時実施中です。

※詳細はJAFホームページ「地域情報」http://jafevent.jp/event_info/drive/index.phpをご覧ください。

JAFは、交通事故の防止を目的とし、自動車ユーザーへの周知と正しい理解のため、今後とも啓発活動を展開してまいります。

[関連情報]

■ E S C技術について

E S Cは、車両の横滑りを効果的に低減させ、衝突回避に貢献する自動車安全技術です。複数のセンサーを介して、コントロールの喪失を検知します。E S Cは、1秒間に25回、ドライバーのステアリング操作と実際の走行状況と比較し、両者に違いがある場合で、かつ車両が横滑りし始めた場合に、特定の車輪にブレーキをかけます。A B S（アンチロック・ブレーキ・システム）と協調動作し、オーバーステア（リアがスライドアウトするケース）やアンダーステア（フロントのグリップが失われるケース）の修正を図ります。E S Cはこのようなして車両のコントロールを回復させ、車両の進行方向を修正・維持します（E S Cは、各自動車メーカーによって呼称が異なります）。

■ E S Cの装備化について（※国土交通省報道発表より）

・適応範囲

専ら乗用の用に供する自動車（乗車定員10名以上の自動車、二輪自動車、側車付二輪自動車、三輪自動車、カタピラ及びそりを有する自動車、最高速度25km/h以下の自動車並びに被牽引自動車を除く）に備える制動装置に適用

・改正概要

現在任意装置となっている横滑り防止装置（E S C）及びブレーキアシストシステム（B A S）を備え付けることを義務化する。

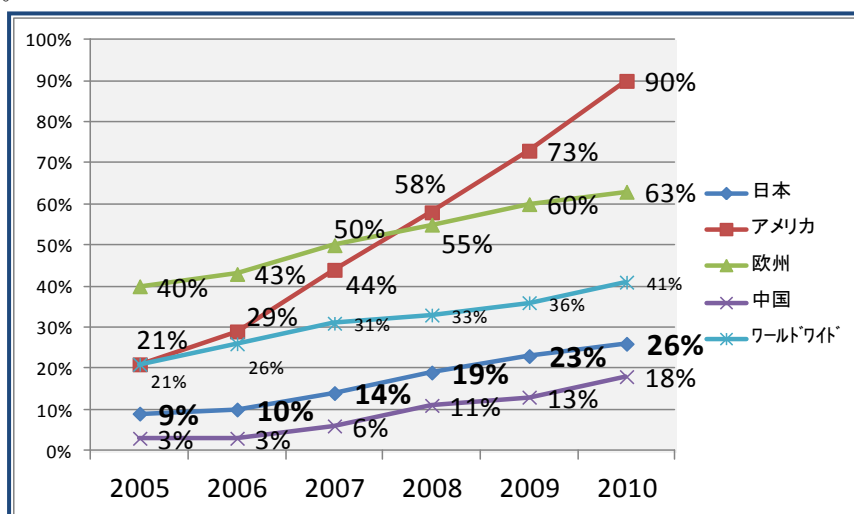
・適用時期

新型生産車＝平成24年10月1日（軽自動車にあつては平成26年10月1日）以降に新たに型式の指定を受ける自動車

継続生産車＝平成26年10月1日（軽自動車にあつては平成30年10月1日）以降に製作される自動車

■ E S Cの装備率〔新車登録ベース（一部生産ベースを含む）〕

- ・アメリカ、欧州ではすでに義務化が進んでおり、装備率は高水準となっています。
- ・日本においても、現在の装備率は低ですが、義務化により装備率が急増することとなります。



このニュースリリースへのお問い合わせは、J A F 交通環境部（電話 03-3578-4915）までお願いいたします。
担当：関根・近藤